

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還）34

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43833">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43833</a>

43  
21  
佐藤 總理、ワシントンポスト東京支局長

外務省電信案 (分類 54159)

機密表示 (機密・秘の朱印)	符号表示 略 (略) 平	総第 54160 号
44	第 4644 号	昭和 33 年 11 月 21 日 時 分 発
	大至急 (至急) 普通 LTF	発電係 (5)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官一房一	主任 情報文化局長	主管局部課 (室) 名 情道
	報道課長	起案 昭和 33 年 11 月 21 日 起案者 電報番号 605 大井

真崎大使 アメリカ局長  
北米課長 李厚記 file  
安全部

本下田大使 臨時代理大使  
佐藤 大臣 発  
在 佐ニユーヨーク 総領事 代理 臨時代理  
大使 臨時代理大使 代理 在

ワシントン・ポスト東京支局長ハリソンの佐藤  
総理との会見要旨  
21日午後総理官邸において行なわれた  
本件会見要旨次のとおり。  
1. 總裁選関係  
問 「総理は過半数をとれる... こと」

所  
系  
系  
系

22-135

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二七) 改正

GB-1

あり得る」  
総理「先一回で必ず過半数をとれる」  
問 「三本 前尾兩氏はナショナルに  
訴えておる総理はプロ・アメリカン  
とみられてゐるようであるがこれは日本  
の政治家にとって不利ではないか」  
総理「プロ・アメリカンとかプロ何んとかとい  
ふことはな... 自主独立が及んばの念願であ  
り自主性のある... 一着因まら、自主独立と  
は日本が単独で進むという意味ではな...  
同じ政治目的 世界目標 協力の合  
て行くのは当然である。日本の知識層  
は英米等との協力は充分理解して  
いる」  
問 「もし三本氏が総理となれば、日本

GB-3

外務省



関係の障害となる。

総理 「三木氏は外相であったし、人にならぬ。いかにしても同じ政党であり、党の枠内で行動しなければならぬ。いかにあえて違いをみせようとしていたのだ。」

2. 沖縄関係 (本項 (オフ・レコ))

問 「日本の安全保障上の問題として自主的に判断されて、沖縄に核基地があることは有利と考えられるか。」

総理 「米国の本土、沖縄も含む海外基地の総合軍力力が日本の安全を確保している。沖縄問題はその一環として考えるべきである。世界唯一の被爆国である日本は感情的にも欧州などと異なり、平和憲法、核兵器に固執する。」



いわゆる三原則など基本的考え方となつてゐる。それだけではわが国の安全は確保されぬ。このためアメリカと安全保障条約を結んでゐるのである。」

問 「沖縄問題が日米関係のガンといわれるか。」

総理 「ガンではなく、心の意味でのくさびである。沖縄住民の理解がなければ米基地も十分な機能を發揮し得ないと思う。」

問 「訪米の時期は来秋か。」

総理 「もうなると思う。沖縄問題について今も今は白紙であると言つてゐる。もう何人とも話を始めなければならぬ。と思つてゐる。」





3. 安全保障、防衛問題

問「ニクソンは日本の軍力強化、軍事協力を求めると思はば」

総理「日米安全保障条約とありやうに行く他はな...。日本は條約には忠實だしアメリカがそれ以上の要求をするとは思わな...」

問「現状のままも希望されるか」

総理「現状のままが一番望ましい。ニクソン氏は何も要求されることばあらず

知れな...として、同氏は日本の憲法等を自分によく知ってゐる。要求はな...と思ふ」

問「ニクソンの言に因連しASPACの問題について」

総理「それについてASPACの非軍事的



性格は全加盟國によつて既に定められてゐるのである」

問「GNPが三位の日本の<sup>役割が大きい</sup>安全保障を國際社会に~~よ~~如何に認識おさば」

総理「三位といつても米國の8.5分の1に過ぎず個人所得は20位、21位といふところで國內には種々問題がある」

國民の自主防衛にめざめて呉れれば

総理として<sup>日本の自主的判斷で</sup>解になら。防衛の問題は自ら定めべきことである。現在の

自衛隊は弱くその裝備は極めて

不十分で強化すべきであると思ふ」

4. 貿易経済問題

問「ニクソン新政権で保護貿易に戻ると考えられるか」



總理 「自由貿易の広…途や変わるとは  
 考えは…。ある業種は自由化により苦痛  
 を訴えて…るが、これは如何に処置するかは  
 政治家の務めである。国内産業で困って…  
 るものを面倒をみるのは当然で、それを  
 やったからといって自由化の途が変わるとは  
 言えない…。行先は自由化であつても大  
 国でも小国でも、それと他国の事情が  
 あり結局そのペースに問題があると  
 思ふ。」

問 「カッチェンバックの要求を不理と考  
 えられらば、」

總理 「不合理とは考えな…が、私の言…分  
 は、GNPにおいて日本の8.5倍と…る基本  
 的に相違のある米國が日本からの輸入



を問題にするのはおかし…のではな…が。  
 鉄鋼は日本側で自主規制をすればよ…し。  
 自動車にしてもドイツからのそれと比較す  
 るは大したことはな…と思ふ。

アメリカへの輸出よりも日本の自由化が遅い  
 て…るが問題にならと思ふが、その中で日本  
 産業の現状をよく理解してもらつた方がいいな  
 らな…。自由化の途は *slow but steady*  
 のペースで行く必要がある。」

5. その他

問 「日本<sup>景</sup>のアジアの役割<sup>目上</sup>と  
 分に<sup>アメリカの</sup>協力するところにて、」

總理 「~~ベトナムに~~ ~~ベトナムに~~ ~~ベトナムに~~ ~~ベトナムに~~ ~~ベトナムに~~  
~~ベトナムに~~ ~~ベトナムに~~ ~~ベトナムに~~ ~~ベトナムに~~ ~~ベトナムに~~



戦後の





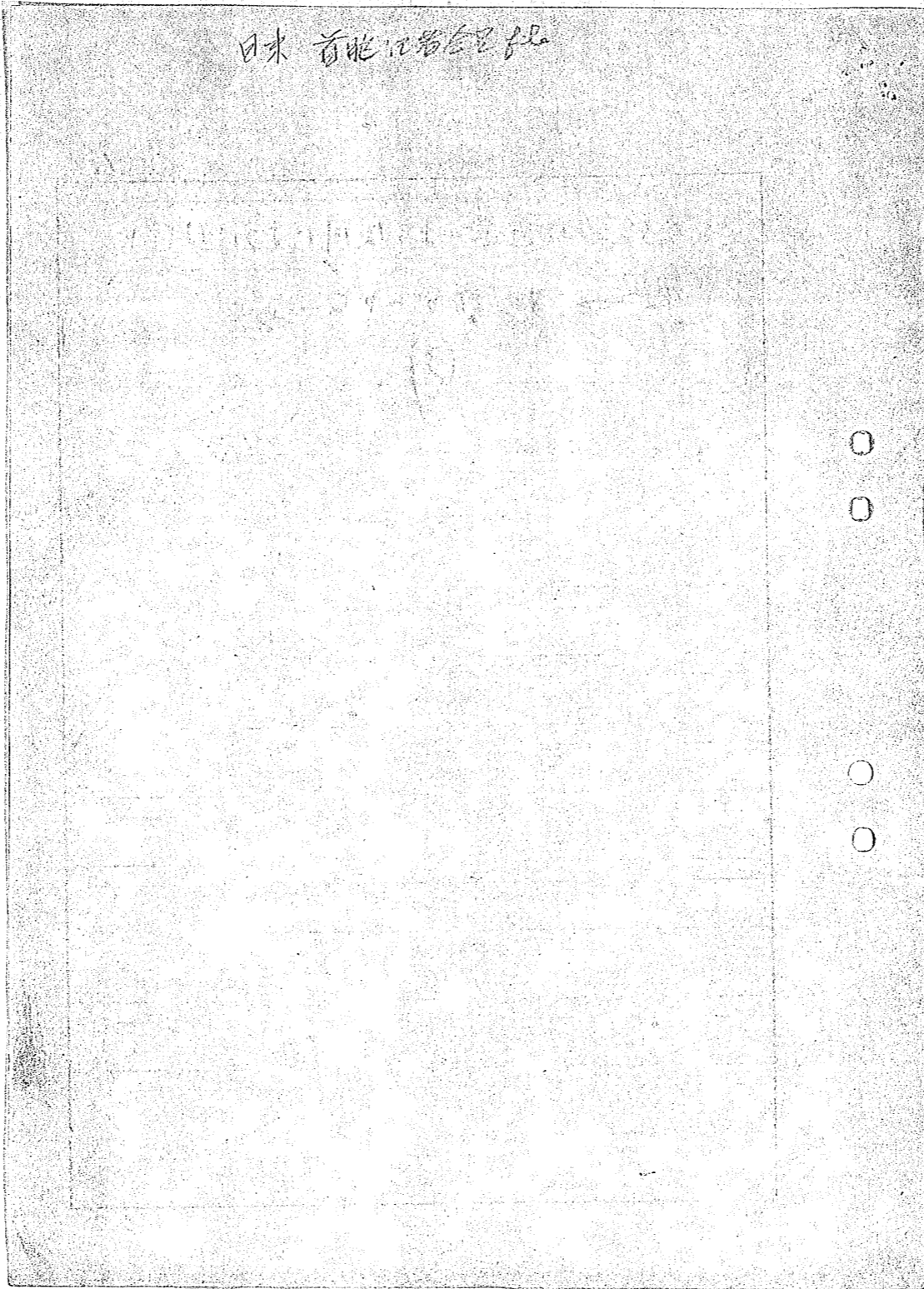


友好的な返還のよるは同じよりに行わ

たす 話のつた...

(3)

日本首能記略全品



アメリカ局長

秘  
無期限

北米課長

情報文化局長

佐藤総理とハリソン・フシントン  
ポスト紙東京支局長との会見要旨

会見日時 昭和43年11月21日  
午後3時-4時

報道課

ハリソン 「総理はフシントンに多

くの友人をお持ちであるが、今次の総

選挙に重大な同心を有し、その  
みんな

結果にたいして心配してゐる。」

総理 「そんなに危くはない。むしろ

る今次の選挙で、その結果、重大な  
みんな 心配するから

結果を生じたいと心配だ。」

ア  
ト  
キ  
マ  
シ  
タ  
コ  
ト  
ニ  
シ  
テ

ハリソン 「自分にはよく分らないが

三木前首相はナショナリズムに訴

えており、総理はプロ・アメリカン

とみられてゐる。」

総理 「プロ・アメリカンと云ふ何人云ふ  
プロ

と云ふことはない。自主独立がみん

なの急務である。自主性のなかつた

一番困まる。誤解されては困まる

が自分一人の~~の~~独自の途は行か

ない。同じ政治目的、世界目標



に何によって協力し合って行くことが

大切である。日本の<sup>知</sup>智識層は米英

との協力には充分理解してゐる。

ハッソン「日本の安全保障上の問題

として自主的に判断されて、沖縄

に核基地があることは有利と考

えられる。

総説「米国の本土、沖縄を含む海外

基地の総合軍力から日本の安全

を確約してゐる。被爆国である

沖縄問題は~~その~~考慮すべきである

日本は感情的に欧州と異なり

平和憲法、核兵器に固執しつゝ

三原則など基本的な考えを

たつてゐる。それではわが国の安全

は確保されるのでアメリカと安

全保障条約を結んでいゝのである。

ハッソン「もし三木氏が総理となら

れば日本関係に害を及ぼす。

総説「そんなことはない。こと比

三木氏は外相であつたしそんなこと

になる者はな...。いっかにしても

同じ政党であり、党内で行動し

たりはならぬ...。つてあるが、あえて

違...をみせようとして...た中で

ある。

ハリソン「アメリカの負っている軍事的

経済的負担を日本に肩代りさ

せようとする声がワシントンにある

と聞いているが、

総説「今肩代りというのはどうか。

日本としては協力しているのである。」

ハリソン「ニフソンの書、たもて明らか

ほとあり、日本の軍事強化、軍事協力の

が求められると思いが、

総説「日米安全保障条約とあり

やって行く他はな...。条約には忠

實とし、アメリカがそれ以上の要求

をすればと思わぬ。」

ハリソン「現状のままを希望される

の点、



総説 「現状のまま、一着望まれば、

ニフソン氏は何を要求されることか

あるかも知れない。として、同氏は日本

の憲法をよく知っており、難しい要求は

はないと思う。」

ハリソン 「沖繩問題と日米関係の

ガンといわれるが、

総説 「ガンではなく、別の意味で

のくさびであると思う。沖繩住民

の理解がなされる基礎も十分な

機能も發揮した、と思う。」

なお、沖繩問題についての私の発言は

すべて書かば... 時期が  
少くとも三週間ほど

極めて微妙であるから。」

ハリソン 「承知した。」

ハリソン 「ニフソン新政権で

保護貿易に戻ると考えられるか、

総説 「自由貿易の原、途が変わる

とは考えない。自由化は必ず進む

であろう。ある業種がそれによつて



痛を訴えて...が、これを如何に処理  
 するかは政治家の智恵である。国内  
 産業で困っているものを面々にするのは  
 当然で、それをやったからと言って  
 自由化の途が変ったとは言えない。  
 行先は自由化であっても、鉄鋼  
 や自動車等に問題はあり、大國で  
 も小國でも結局そのペースに  
 問題があると思う。  
 ハリソン「カウチエンバックが下田大使

に会った際、米の要求を不合理と考  
 られたが、  
 総理「不合理とは思えないが、私の  
 言...分は(選挙中)ラスク長官の言  
 言にある<sup>如く</sup>米のGNPは8,500億ドル  
 に対し、<sup>あり</sup>連年のそれは2倍、3倍の日本の  
 8.5倍という基本的な相違がある  
 米國が、日本からの輸入を問題に  
 するのはおかしいのではないかと  
 鉄鋼は日本側で自主規制をす



総説「乍、当である、考え方に違...が

ある、北米領土について話...が

「な...」

ハリソン「日本はアメリカの役割を

分に應じて協力するとい...が」

総理「ベトナムについて、もし希望

されれば停戦の話が円滑に進むよう

協力するし、戦後の経済復興について

も協力する用意がある。インドや

インドネシアにも多額の経済協力を

している。とくにインドネシアには米と

同額の援助をして...るのである。...が

...が、...が、

...が、

ハリソン「ニクソンの言に関連し

ASPACの問題について」

総理「そのことについて自分の発言が

ニクソンの提言を拒否したと誤解

されて...が、ASPACの性格は

全加盟国によって既に...が



いふのである。

ハリソン 「アメリカは依然アジアに

おいて軍事的役割を果すことを望ま

る。

総説 「現実の問題として、日米安保條

約、韓韓條約、米比條約がある

米の基本的態度が変わるとは思わ

ない。

ハリソン 「総説の過去四年を通じ一番

のミスと考えられていたことについて

総説 「経済の安定と経済力の増大

GNPでは世界第三位となったことで

あるが、残念ながら個人所得の低

近代社会福祉国家と~~は~~の生活の向  
国民

上は今後の問題である。」

ハリソン 「GNPが三位の日本の安全保

障を国際社会は如何に認識すべ

きかと考えるか」

総説 「第三位と言っても米国の8.5分の

1に過ぎず、国内には種々の問題がある。

個人所得は20位か21位であり、

ランスはGNPでは日本に負けてゐる人

ロが今後倍になれば追越さるわけ

で、余りいはいはな...

また、国民と日本安全保障条約の現

状に満足されるのは困まるのであって、

自主防衛をなさねばならぬは総説

としては望みになるわけだ、

ハリソン「今次の總裁選で過半数  
総説は

がと水は... こともあらず」

総説「先一回で必<sup>す</sup>と水は...  
過半数は

自主防衛に... であるが、一には

国民の精神的問題、意志の力と云ふには

abilityの問題に分けて説明して... する

た、<sup>今</sup>は後者の方に力を入れて  
頃

説明して... する。」

ハリソン「アメリカは日本に能力の点で

期待しすぎる、無理を言つて... する

も自身は考へるが、

総説「無理とは思はな... 二かこそ



自分でさめるべきこと ~~は~~ 自衛隊は  
である。

弱... 強化すべきである。是般の学生達

に政社機関で ~~侵入~~ 侵入の

は防衛庁である。是日私は陸上自衛  
隊の記念式典

と海上自衛隊の

観艦式に臨んだ。その装備は極めて

不十分である ~~こと~~。

ハリソン「ニクソンを前から知って

おらからか」

総理「よく知ってゐる。」

ハリソン「それでは同氏の当選を喜ば

せぬが」

総理「とにかく早く大統領選挙が

終わったことを喜んでゐる。日本の場合

民主党であろうと共和党で問題はない  
であろうと

「私は個人的にもハンフリー氏を

もニクソン氏とも親しい。」

ハリソン「訪米の時期は春秋だ」

総理「そうなると思ふ。沖縄問題

について白紙であると言つてゐるが

もし何人との話合を始出せしめはな

らな...と思つて...。日本とアメリ

マース氏は古くは遠く今度出

力の肩代りの問題に...?は、一次的

には経済的協力を伴つて行き政治

的には内政干渉ならぬよう我

いわけの新植民地主義をさけ、内面的

に指導協力 ~~を~~ といふこととなる

と思ふ。」

ハリソン「ベトナム和平について希望

を持つと思われらる。」

總理「希望はするが其主義國とは

さんには簡単に話が進むと思われな

ハリソン「サイゴン政府の態度は正

当と思われらる。」

總理「本國との間に何の誤解も

コミュニケーションの不足から生じたので

はな...と思ふ。」

ハリマン氏はうちと4長仲である

が、今次折衝には絶好の人である

と思ふ。同氏は其主義や其度





写

米北合第 2524号

昭和43年12月 28

本信 B. 立 輝 登 フアイン

外務大臣

公信転報 (B52 事務に因する米側返信 及び

マニラとホスト紙記者の佐藤秘理との合見)

本件に因する下記公信 (2通を転報する。

記

43年11月22日 在米下町大使館 本大臣宛 来信政第 ~~8739~~ 8739号

43年11月26日 同 上 来信政第 2212号

付属添付

本信送付先 日本坑諮問委員会  
日本政府代表  
日本政府沖縄事務所長